



# PIECES\_ 事業報告書

~2016.3

NPO 法人 PIECES (登記申請中)

住所 〒150-0002 渋谷区渋谷 1-3-18-A203  
MAIL [info@pieces.tokyo](mailto:info@pieces.tokyo)  
Web サイト <http://www.pieces.tokyo>  
Facebook <https://www.facebook.com/pieces.tokyo>

# 目次

1. Vision
2. PIECES が行うこと
3. 事業内容
  - 1. チャプター事業
    - これまでの取り組み
  - 2. シンクタンク事業
4. 子どもたちの声
5. around us
6. 事業計画
7. 寄付・参加のお願い

# Vision

## 誰もが権利の尊厳を持ち、平和に向かう社会の実現



私達は、誰もが権利と尊厳をもち、平和を紡いで生きられる社会を目指して活動しています。

平和はプロセスです。私達が進んでいく道そのものです。そして、そのプロセスの基盤となるのが、一人ひとりの存在を尊重し合える「安心で安全な環境」です。そのような環境があつて初めて、人もコミュニティも社会も健やかに、そして豊かに成長・発達することができます。

私達は、その「安心で安全な環境」が、今を生きる子どもたち、未来をつくる子どもたちの周りに生まれることこそ、平和のプロセスを前に進める力になると考えています。そのような環境を子どもたちと共にデザインすることを通して、子どもの育つ環境に投資ができる社会をつくっていきます。

子どもたちの成長・発達、環境—とりわけ「関係性」—との相互作用により大きく変化していきます。

ヒトとヒトだけでなく、有形無形のモノやコトとの関係性。疎であったり、密であったり、近かったり、遠かったり、ひと時だったり、長く続いたり…。様々なグラデーションの関係性の中で育っていきます。

取り巻く環境が多様化、複雑化している今、改めて安心・安全を感じられる環境や関係性の在り方を問い直し、デザインし、創造していく必要があります。

子どもたち自身の願い、子どもたちに対する願いを紡ぎながら、共に問い、描き出し、カタチにし、また問うていく。それが本当に価値あるものなのか、健やかで豊かな成長・発達を促すものなのか、平和のプロセスを進んでいるのかを絶えず確かめながら、社会に新たな価値と文化をつくっていくことが、私たちの使命です。

## 代表 小澤いぶき

山梨県出身 / 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員 / 児童精神科医。

PeCanvas (生きる力を文化、芸術を通して学ぶ親子の教育プログラムを実施) 立ち上げ及び運営にも携わる他、子どもも大人も立場を問わず「1人の人としての幸せ」を考える asobi 基地 副代表としても活動中。



# PIECES が行うこと

## 健やかで豊かな「生きる」が紡がれる、レジリエントで寛容な社会の生態系を醸成する

つながりの形や機能が変化し、他者への尊重を伴わない個人主義化が進む現代において、障がい、虐待、貧困、依存症など様々な社会問題は個人の責任として問われ、包摂とは反対の方向へ向かっています。そして、それらの社会問題はある種の「危機」として扱われ、危機への対処に焦点が当てられています。しかし、それらを危機として扱い、対処しているだけでよいのでしょうか。どのような環境に生まれ、どのような特性を持った人間でも、権利と尊厳をもち、健やかに生きていくためにはどうしたらよいのでしょうか。様々な危機を個人の問題として責任を問うのではなく、他者への尊重と共感、寛容さがある、人と人との健やかで豊かな関係性やつながりの中で、それぞれの「生きる」が紡がれていく。危機が起きるそれ以前の社会の仕組みから問い直し、新たな社会の生態系をつくっていくことが現代を生きる私たちに求められる課題であるといえるのではないのでしょうか。

他者への尊重と共感、そして寛容さ、健やかで豊かな関係性のある安全で安心な社会の生態系が広がっていくことは、平和に向かうプロセスになると信じています。

そのような背景から、PIECES は上記のミッションの下に、健やかで豊かな多様な生が共存していくための活動を実践・研究の両面から進めています。



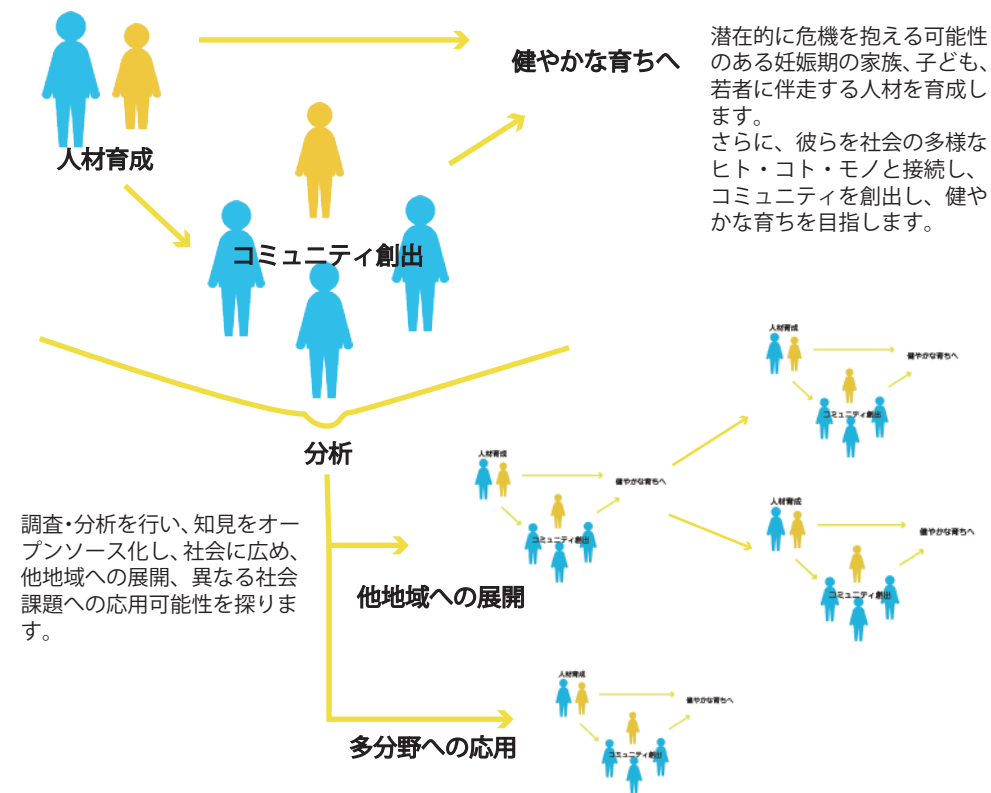
危機を予防し、健康的な育ちを生み出す社会の生態系をつくるために、2つの事業から成り立っています。

### 1. 人材・コミュニティ・ネットワークをつくる

→チャプター事業へ

### 2. 社会にひろめる、応用する

→シンクタンク事業へ



最終的には、このようなネットワークと循環が社会全体に広がった新しい生態系を目指します。

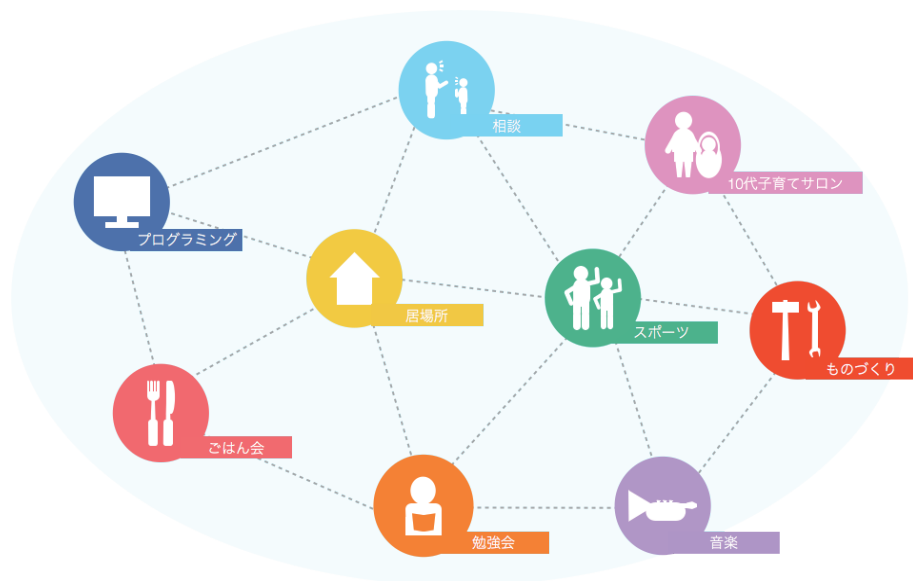
# 事業内容

## 1. チャプター事業

子ども達が抱える問題は多様で、進学や就職などそれぞれのステージによって抱える問題は変わってきます。一つの場だけを作りサポートしていくのではなく、ご飯を食べる場所、勉強する場所、多様な大人と触れ合う場所といったように、それぞれの機能を持った小さな場をいくつも生み出し、それぞれの場がつながりコミュニティとして子ども達に寄り添っていくことが重要です。

ここで大事になるのは、多様な大人とこのコミュニティを構成することです。それぞれができることを持ち寄り、できる範囲で子ども達と関わっていくことが重要です。

市民が主体的に子どもの育ちに関わり、多様なモノ/コトでつながる CHAPTER の輪が拡大していくことで、「つながりによる子どもの育ちと学びのセーフティネット」が地域で自然発生的に生まれることを目標にします。



多様な大人ができることを持ち寄り子ども達つながりを作る、この一つ一つの場をチャプターと呼びます。チャプター一つ一つがつながりコミュニティを構成していきます。

### ● コミュニティ創出



ごはん会

豊島区にある古民家を活用して月2回程度40人の子どもと大人が集まるイベントを開催。子ども達と一緒に料理をし、みんなで作ったご飯と一緒に食べ、交流できる会となりました。このイベントからイタリアン料理教室が生まれ、子ども達が大人に料理を振る舞うイベントを開こうというプロジェクトが今現在進行しています。



10代子育てサロン

10代のシングルマザーの子育てをコミュニティで応援。子育てのこと、進路のこと、就職のこと、地域の大人や専門家がサポートしました。高卒認定の試験を受け、来年は看護師になるため看護学校の受験を目指す子もいます。



スポーツ

多様な大人と子ども達がフラットに関われるドッジボール大会を実施。高校生が中心となって企画運営を行いました。



プログラミング

ゲーム作り、ロボットの開発、プロジェクションマッピングの制作を様々な大人のサポート受け実施。進路を決めた子もいます。

### ● コミュニティユースワーカー育成

子ども達が抱える課題・興味関心に寄り添い、子ども達の“いま”と“将来”の可能性を広げる子どもの伴走者を育成します。子ども達と関係構築をする中で見えてくるニーズや機会に対して、多様な大人を巻き込みチャプターを生み出していくハブになる存在がコミュニティユースワーカーです。



# これまでの取り組み

## 1. チャプター事業

### ● コミュニティ・ユース・ワーカー (CYW) の事例



・高校中退者のサポート  
高校を中退したので高卒認定を教えて欲しいと子どもから依頼があり、高卒認定の無料学習会を実施。高卒認定の資格所得後の進路を一緒に考え、オープンキャンパスなどへ同行。



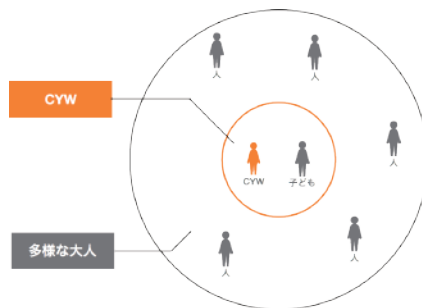
・不登校の子のサポート  
地域のお母さんの紹介で、不登校の子とつながりました。家に訪問し、最初はゲームで打ち解けていき、次第に勉強する時間も作ってきました。毎回一緒にご飯を作って食べます。



・就職のサポート  
高校を中退し、専門学校へ編入し、卒業を控えている子の就職をサポート。興味ある仕事についている人を紹介することや、履歴書の書き方、面接練習などを行う。

どのような子と地域で出会っても、伴走していけるように多様な力を借り、目の前の子一人一人にあったサポートをオーダーメイドで展開していきます。

妊娠期のお母さんから、中高生の子も達まで地域で繋がり、一緒にご飯を食べたり、遊んだり、勉強したりする中で、日々の悩みややってみたくて引き出し、引き出された悩みや興味関心に寄り添うことが主な役割です。協力してくれる大人をつなげ、子どもたちの可能性を広げていく伴走者として、そしてコミュニティを作り、地域のつながりをつくるハブとして機能していくことを目指します。



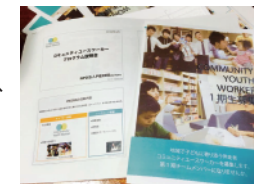
### ● コミュニティ・ユース・ワーカー育成の事例

育成プログラムでは、チームメンバーを5~8名採用し、心理学、医学、教育学、社会福祉学を基盤に、それぞれのCYWの特性を伸ばし、子どもと寄り添いコミュニティを創出できる人材を育成します。

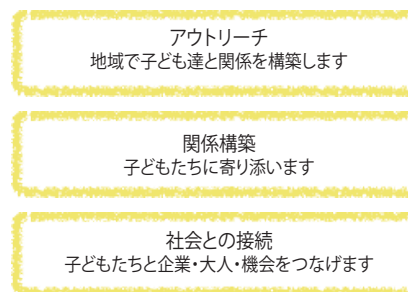


2015.12 育成プログラムの様子

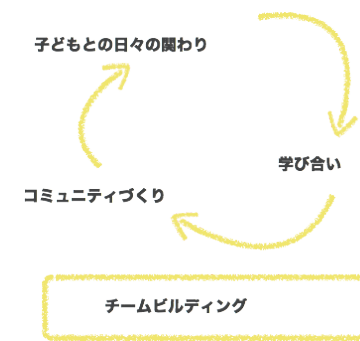
プログラムは、子どもたちと週1~3回関わる実践と、月2回程度の振り返りや議論、技術や理論をゼミ形式で学ぶという実践と理論の両面から構成されています。また、プログラムのなかで、子どもたちを大人や場所につなぎ、コミュニティをつくる実践も行われます。



2015年末から行われた育成プログラムでは、5名のメンバーがチームとなり実践と学習を行っています。



▶ コミュニティ・ユース・ワーカーの3つの活動



▶ 育成プログラムの構成

### ● CYW メディア掲載など



「soar」ニュース記事掲載



筑波フューチャーファンディング後援



HP 開設  
<http://pieces-cyw.net>

## ●コミュニティの事例とその広がり

豊島区、足立区を中心にごはん会、勉強会、スポーツイベント、10代ママ子育てサロン、プログラミング教室、料理教室、ファッションショー、ハッカソンイベントなど様々なイベントを実施し、多様な大人を巻き込み、子ども達につながりと機会の提供を行いました。企業のオフィスをはじめ、個人宅、古民家、大学といった様々な場所、モノの提供をしていただき実現しました。

CHAPTER数  
**30** CHAPTER

子ども参加者  
**130**名

大人参加者  
**180**名



イタリアン料理人を目指す子が企画した料理イベント



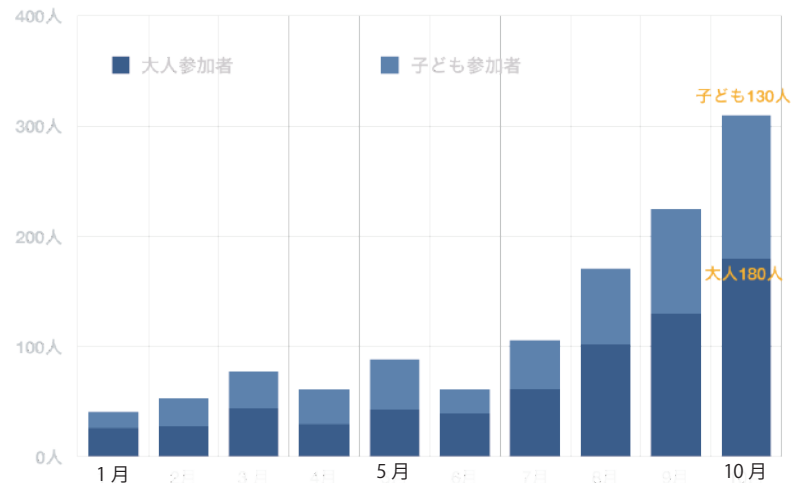
企業に訪問し社員と交流



高校生が企画するドッジボール大会



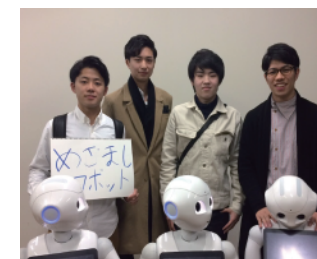
▶ コミュニティへの参加者の推移



プログラミング教室で音ゲー制作体験



大学生モデル・DJとコラボし、ファッションショーを開催



ペッパーのハッカソンイベント開催

## 2. シンクタンク事業

### ● 啓発事業

これまでに蓄積されてきた実践知、形式知をもとに、子どもに関わる支援者や保護者、学生向けの講演・研修、市民向けの講演・オンラインでの情報発信等を行っています。



#### \* 講演実績

TEDxHimi / Art of living magazine 主催「映画『バベルの学校』上映会&ゲストトーク」/  
FoundingBase 主催「シゴトカイギ」/ NPO 法人ピープルデザイン研究所主催「超福祉展」  
その他多数

#### \* メディア掲載実績

2014.10.17「一人ひとりが尊重され、包摂される文化を」(HUFFPOST)  
2015.04.08「どんな人にも『ただいま』と言える場を。」(greenz)  
2015.04.13「家族以外の大人も関わる、多様な『子育て』が文化になっていく社会を」(yoggy magazine)  
2015.12.22「たった一人の信頼できる大人との出会いが子どもを育てる」(soar)  
その他多数

### ● 人の「関係性」を力ガクする研究会

「安心が途切れない社会の生態系」を醸成する土壌づくりを行うことを目的とし、参加者それぞれの多様な研究的・実践的な視座をもとに、対話や議論をする研究会・勉強会です。

#### \* 今年度のテーマ（予定）

- ・「子どもの育ちとコミュニティ」
- ・「イスラエル発のトラウマ予防から学ぶ」
- ・「ソーシャル・キャピタルと社会的健康」
- ・「ドクターと市民が織りなす、オープンコミュニティの実践」
- ・「社会的な関係性からみる個と地域の幸福」
- ・「自立と依存」など

### ● 調査とオープンソース化

PIECES に関わる実践の調査を通して、実践のモデル化やデータの可視化を行い、どのような実践を行っていけばよいかを明らかにします。また、多様な地域への展開可能性や他の社会課題との応用可能性を探究する土壌づくりを行います。

さらに、調査結果をもとに、どのような社会を目指していくかを考え、政策提言なども視野にいれ、研究を行います。

PIECES とかかわって勉強を自分からす  
すんでやるようになったし、先生にきけるよ  
うになった  
いままでわからないことが恥ずかしくてきけなかつた  
ことも、きいたらできるようになることを知り先生にき  
けるようにもなった  
私自身だけでなく教えてくれる人たちも一丸となって  
勉強しやすい環境をつくってくれたり、応援してくれる  
からすごい頑張れた  
いまでは親に相談できないことを相談できたり、くだ  
らないことで笑ったり、この先の進路などなんでも  
話せる大事な場、人がいます  
この場は勉強だけでなく人間関係も育つ  
きがした  
M ちゃん

自分は PIECES と関わっ  
て良かったことはイベントに誘っ  
てもらってたくさんの人と人脈が出来  
て友達が増えました笑  
変わったことはドッジビー等のイベントで司  
会を経験して人前で話す事になれたことと運営  
や企画の会議をして頑張る事を知って  
成功しても失敗しても次に生かそうと考える  
ようになりました！  
今までは頑張る事をしてこなかですけど頑  
張るって良い事だなって思いました！  
N くん

よかったところは年齢層が  
幅広くいろいろな人と関われた  
り初めて来た人でも楽しくでき  
るところですねえ！  
変わったところは最初の頃はこ  
うとこに来たことなかったからガチガ  
チに緊張したりあまりしゃべれなかつ  
たりしてたけど今になってはいろん  
な人とはしたり自分のキャラをいか  
せることができたりと変わりました  
!!  
T くん

ドッジビー大会を毎月やっていて苦  
手のことが少し克服できた。それは初めての人  
とお話することです。最初は全く話をするこ  
とができなくドッジビーをしていくなかでど  
んどん話ができるようになり、今では自信が  
持てるようになりどんな人でも話ができ  
るようになりました。  
またプログラミング教室を開いてくれて助  
かりました。プログラミングの関係者にあ  
って教えてもらったり、オープンキャンパス  
に行ったりしてとても助かりました。将来の  
夢が幅広くになりました。その他にも、い  
ろいろなイベントを探してきて、そのイベ  
ントは興味がありそうなイベントで全てが  
楽しかったです。最近ではペッパーく  
んのイベントがとてもよかったです。ペッ  
パーくんの知らないことを知ることができ  
ました。それにこの活動以外にも「山  
いきたい」と言ったら一緒に企画をして  
くれてとても楽しくできました。  
K くん

いろんな事情を持った人たちと  
会えたし色々話せる友達も増えた！  
自分も心理を学んでいく上でそ  
うゆー人たちが子供達と関わる  
ことができて嬉しいしこれから  
関わっていきたくて思った  
どこと変わったわと言われる  
となんとも言えないけどこれ  
から関わっていくことでな  
にか得られることはあると思  
ってる  
Y くん

やってみたかったことを  
できてとても嬉しかったし、いい  
経験になったと思います。  
またこういう機会があるならもう一度参  
加してみたいです！  
今まで参加して思ったことは  
いろんなボランティアさんが私  
たちのために動いてくれて  
私もそっち側に参加したいと思  
うようになりました。  
また、自分は恵まれてるなあ  
と思ってどんなことでも幸  
せに感じます。  
M ちゃん



## ● メンバー



小澤いづき  
代表理事



齋典道  
シンクタンク事業  
マネージャー



荒井佑介  
チャプター事業  
マネージャー



鈴木裕二  
事務局長

## ● 理事・監事からのメッセージ



松川倫子  
Innovation Manager at Acumen

貧困問題が年々深刻化している米国発のNPOで、アフリカ諸国やインド・パキスタンといった国の貧困解決に取り組んでいます。そこでの経験を通じて、経済的な豊かさ以上にまず大切なのは、明るい未来を想像する力であったり、好奇心や向上心を抱き続ける力、試練を乗り越えようとする意思力と胆力の存在だと思ふようになりました。そしてそれらは他者との深い信頼関係や、自分を心から応援してくれる人やコミュニティの存在に支えられ、強化されていくものだと感じています。日本にいる、一人でも多くの子どもたちが、そういった機会を得ることのできるように様々な取り組みをしているPIECESを心から応援しています。

"Knowing what's right doesn't mean much unless you do what's right."

— Theodore Roosevelt.



吉岡利代  
ヒューマン・ライツ・ウォッチ

世界平和は、一人の人間として生まれた自分をありのままに愛し、自分自身と平和に日々歩むことから始まると信じています。でもそれは、誰も一人ではできないこと。この大きな地球の、長い長い歴史のなかで、同じコミュニティで出会えたことは奇跡！子どもと大人の垣根を越えて手を取りあい、ひとりひとりが尊厳を持って生きられる社会を創るPIECESを心から応援しています。



香川秀太  
青山学院大学社会情報学部准教授

CYWは、自由な発想で子ども達に触れ、新しい可能性の場をデザインしていく活動です。例えば、スポーツやプログラミングなど既存のものをユニークな形でアレンジして、面白い活動を共に創ります。制約の多い学校や職場と違って、とっでも自由度は高いと思います。ゆる〜くつながり、ゆる〜くみんなでみんなの可能性を創造する。もしかすると自分でも嫌ってしまっているちょっとした癖や個性がここでは、創造の原動力になりえます。

ただ、違いを認め合うだけではなく、違いを生かして面白い活動を創っていくんです。子ども達だけでなく、個性的な社会人とのネットワークも広がります。そんな小さな活動が一つ一つつながっていけば、大きな可能性になっていきます。みなさんもぜひ、その可能性と一緒に試してみたいかでしょうか。あなた自身も、新しい自分になっていく面白さを感じられると思います。



田上佑輔  
医療法人やまと 理事長

ピーシーズの魅力は人です。人と関わる事業だから、やってくれる人が大切にそこを認める一人が私です。同じ人と接する仕事として、できることに協力したいと思っています。

## ● 協力者／賛同者のみなさまからのメッセージ

田村尚華  
結 / デザイナー

子供の頃、誰に相談することもなく自分で進路を決めた。「もう少し前にこれを知っていたら今違う仕事をしていたかも」という作品に大人になりかかった歳に出会った。もしあの頃いろんな可能性があることを知っていたら、未来は変わっていたのかな。そんな子供の世界を広げるきっかけとなるのがPIECESだろう。もっと子供達の心の奥にある光を見つけて輝ける場所を作りたい。そのために私がおもっと楽しく、おもっとクリエイティブに生きていく。子供達に最高の未来をプレゼントするために。

丸山寛子  
mogmog はうす / 料理研究家

食卓をテーマにしたmogmog はうすの姿はとあるPIECESのメンバーの一言から始まりました。「こども食堂やればいいじゃないですか！」きっかけや、チャンスは思わぬ所からやって来るのです。この言葉がなかったら、会うべき人に出会わなかった。

最初は'点'と'点'だった出会いも'線'になり'面'になる。これからもPIECESとmogmogの関係はより一層強くなると思いますよ。だって美味しい場所には、たくさんの笑顔と元気が集まりますから♪

これからもどうぞmogmog はうすと仲良くして下さいね！

沓沢一貴  
DANRANIST

もともとイタリア料理をふるまうのが好きな私でしたが、PIECESと出会っていろんな地域の子どもたちとパスタをつくったり一緒に団らんするようになりました。親や先生や専門家とも違うオトナでも、子どもの育ちに関わる多様なオトナの一人として、必ず出番があり、出番をつくれることを知りました。今後は子ども側から多様なオトナにつながるための料理や団らんのあり方を子どもたちと探していきたいです。

井上美保  
NPO法人ぷらちなくらぶ

PIECESのイベントに参加するいつも、メンバーさんを探すのにひと苦労する。だって、いつも子ども達の中に紛れ込んでいるから。表情も子ども達と同じだから余計に見つからない。楽しんで。そこがいちばんの魅力。  
・おとなみんなでも子どもみんなを育てる。  
・まずはおとなが子ども達にとって身近であること。

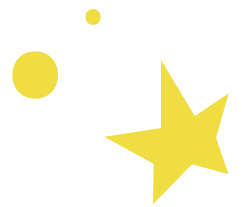
ということを改めて感じさせてくれる。私はこれからもPIECESの皆さんと子ども達に紛れて、とつぎにくいイメージだったプログラミングを楽しんだり、イベントに来ている子の中から、インターネットラジオで話しをしてくれる子をスカウトさせてもらったりしたい。そして喜んでくじけたりしながらおとなになっていく、その子達を、一緒に見守りたい。

中島かおり  
にんしんSOS東京

PIECESのみなさんと会うと嬉しい。嬉しくて思わず笑顔になる。しんどいなと感じているあれこれを少し俯瞰的に眺めるきっかけをくれる。彼らの魅力は、なんといってもその緩さ。その心地よい緩さにいつの間にか癒されている。そんな彼らと、中学生のカップル向けのなんちゃって両親学級をやってみよう。愛し合っているふたりに聞いてほしいこと知ってほしいこともPIECESと一緒に寄り添うように伝えられるはず！

村上典子  
豊島・生活者ネットワーク

自己責任ばかりが強調される現代社会の中で、もがき苦しむ子どもや若者の声を聞き漏らさず、寄り添っていかうとするPIECES活動は大変意義あるものだと思っています。年が近いからこそ見てくるものがあるでしょう。そして、PIECESの活動には、いつもたくさんの笑顔があります。笑顔のPIECESがみんなのPEACEにつながるように、これからも応援しています。





# 事業計画

## ●今年度の計画 2016.4~2017.3

チャプター事業では、育成プログラムの開発と人材育成を中心に活動します。人材育成の質の担保に注力し、10名程度のコミュニティユースワーカーを育成します。その結果、新たに都内で2地域、子ども100人程度の支援につながるが見込まれます。

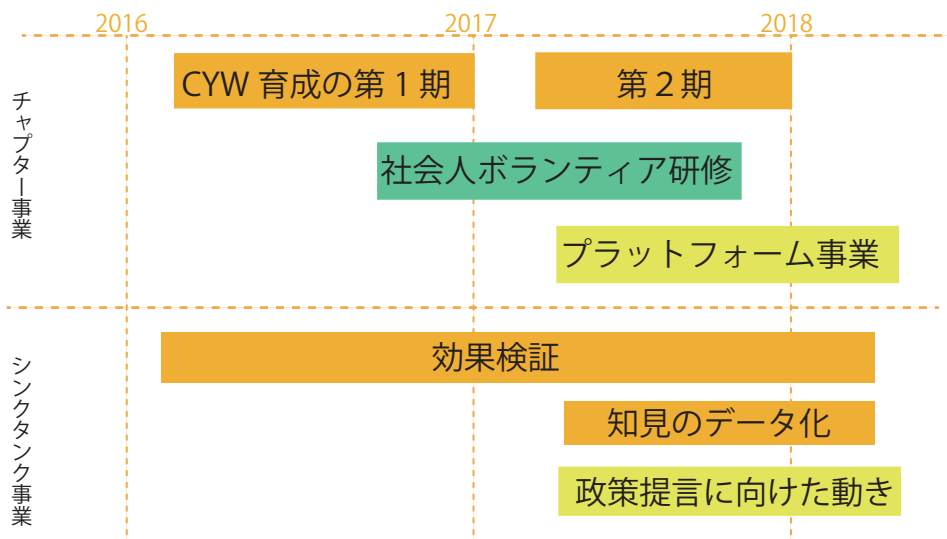
また、コミュニティユースワーカー以外にも、大人が関われる仕組みをつくるために社会人のボランティアのための研修も開始します。

シンクタンク事業では、チャプター事業で営まれる、子どもとCYW・市民の関係性や、子どもの成長についての効果検証のための調査を行います。事業の質の担保と、より広い地域に展開していくための知見を得ることを目指します。

## ●中期の計画

チャプター事業では、人材育成を継続的に行うと同時に、今までで育成したコミュニティユースワーカーや社会人ボランティアのためのプラットフォームをオンライン上で展開します。プラットフォームでは子どものデータや、支援のための情報交換が行われ、よりよい支援が行われることを目指します。

シンクタンク事業では、効果検証に加え、政策提言に向けた調査・研究も行います。また、これまでの調査から得られた知見をデータ化し、プラットフォームにて提供し、他地域での展開を裏から支えます。



# 寄付・参加のお願い

## 一人ひとりの「できる」や「らしさ」が社会の力に

あなたがかつてそうであったように、子どもたちは、さまざまな関係性や機会との出会いの中で育っていきます。一人ひとりの「できること」で、子どもたちの「いま」と「未来」を、そして、私たちの生きる社会を豊かであたかなものへと変えていきませんか？

あなたの思いや行動を社会の力にするために今日からできることがいくつもあります。子どもたちの「いま」と「未来」を、そして私たちの生きる社会を豊かにするために、自分なりの関わりのカタチを是非探してみてください。



PIECESの活動は、地域の人、会社で働く人、高校生や学生と一緒に子どもたちにつながりや機会をつくっています。

料理やスポーツなどの「得意」を持っている人はもちろん、目には見えない優しさや寛容さ、マニアックさや怠けっぼさだって大切な力。

関わる時間も場所も頻度も一人ひとりの都合に応じて様々。飾らない自分やまだ見ぬ自分が、子どもたちによって引き出されるかも？



1,000円からの金額でお好きな頻度で寄付が可能です。もしくは月々1,000円からのサポートで、PIECESの活動を通して、継続的に子ども達の健やかで豊かな育ちに貢献することができます。

たとえば、3,000円で、古民家を利用して多様な大人と混ざり合って、遊び、学び、食べる会に10人の子ども達を呼ぶことができます。

1日約30円~の寄付という社会への投資で、子どもたちと共に誰もが安心を感じられるあたたかな社会をつくっていきませんか？



一個人ではなかなかもてない資源や可能性を分け合うことのできるパートナーを募集しています。

法人寄付、会場の提供、社内での研修会・勉強会の開催、自社の製品・サービスの提供など、さまざまな形でパートナーとなっていていただくことが可能です。それぞれの企業さん・団体さんならではの社会に対する思いを是非お聞かせください。共に社会を豊かに変えていく力になっていきましょう。

詳しくはHPもしくはスタッフにご連絡くださいませ。

<http://pieces.tokyo>

※運営から活動を支援するプロボノやインターン生も随時募集しております。お気軽にご相談ください。